

令和5年度事業計画（案）・予算（案）の概要



令和5年度佐賀支部事業計画（案）の概要

令和5年度事業計画の位置づけ

- 令和3年度からスタートした保険者機能強化アクションプラン（第5期）では、3年間で達成すべき主な取組に加え、達成状況を評価するためのKPIを定めている。
- 本事業計画は、保険者機能強化アクションプラン（第5期）の目標を達成できるよう、令和5年度に実施すべき取組と進捗状況を評価するためのKPIを定めるものである。

（1）基盤的保険者機能

【主な重点施策】

※ 【 】は予算額
（ ）は前年度予算額

●健全な財政運営

- ・ 協会の保険財政にかかる加入者・事業主の理解促進に資する情報発信
- ・ 第4期都道府県医療費適正化計画策定段階からの積極的関与及び意見発信

●現金給付の適正化の推進、サービス水準の向上

- ・ 支給決定業務の自動審査化等による現金給付の適正化及びサービス水準の更なる向上
- ・ 傷病手当金と障害年金等との併給調整の確実な実施
- ・ 柔道整復施術療養費等における文書照会の強化

●返納金債権の発生防止のための保険証回収強化及び債権回収業務の推進【495千円（495千円）】

- ・ 保険証未返納者への文書や電話催告等の強化
- ・ 返納金債権の早期回収の強化
- ・ 保険者間調整及び法的手続きの実施による返納金債権の回収率の向上

●業務改革の推進

- ・ 職員の意識改革及び柔軟かつ最適な事務処理体制の定着化と実践の徹底による生産性の向上
- ・ 電話及び窓口相談体制の整備・強化並びに相談業務の品質の向上

(2) 戦略的保険者機能

【主な重点施策】

※ 【 】は予算額
（ ）は前年度予算額

- **特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上 【15,701千円 (17,952千円)】**
 - ・ 健診等自己負担軽減を契機とした関係団体との連携による受診勧奨等の実施
 - ・ 事業者健診結果データの取得に係る新たな提供・運用スキームの浸透に向けた意見発信の実施
 - ・ 重点地区（唐津地区）における集団健診及びがん検診同日の実施
- **特定保健指導の実施率及び質の向上 【2,408千円 (2,796千円)】**
 - ・ 外部委託による健診当日の初回面談の推進及び外部委託の一層の推進
 - ・ 情報通信技術を活用することによる特定保健指導対象者の利便性の向上
 - ・ 特定保健指導実施者への満足度調査による特定保健指導の質の向上
 - ・ 専門職たる保健師の採用強化
- **重症化予防対策の推進 【8,482千円 (7,543千円)】**
 - ・ 血圧・血糖に加えLDLコレステロール値に着目した受診勧奨の着実な実施
 - ・ 佐賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく主治医と連携した予防対策の実施
- **コラボヘルスの推進 【2,700千円 (1,905千円)】**
 - ・ 健康宣言のプロセス及びコンテンツの標準化を基本としたコラボヘルスの推進
 - ・ データ分析に基づく地域の特性に応じたポピュレーションアプローチの実施
 - ・ 保健師・管理栄養士による健康宣言後のフォロー体制等の確立
- **広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進 【4,789千円 (5,906千円)】**
 - ・ 生活習慣の改善や受診行動変容への動機づけを目的とした広報の実施
 - ・ 様々な媒体（新聞・テレビ・WEB等）及び県や業界団体等との連携による幅広い情報発信
 - ・ 健診の補助率引上げ等の更なる保健事業の充実に関する加入者・事業主に向けた継続的な広報の実施
 - ・ マイナンバーカードの保険証利用の推進及び電子処方箋に係る周知・広報への協力

●ジェネリック医薬品の使用促進【703千円（708千円）】

- ・ 加入者に対するジェネリック医薬品軽減額通知
- ・ 「医療機関・薬局向け見える化ツール」等を活用した医療機関・薬局に対する訪問等による働きかけ

●地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信【6,101千円（2,880千円）】

- ・ 地域医療構想調整会議や医療審議会等におけるデータ等を活用した効果的な意見発信
- ・ 不要不急の時間外受診や休日受診を控えるなどの「上手な医療のかかり方」に係る働きかけ

●調査研究の推進

- ・ 保険者協議会、地方自治体、国民健康保険団体連合会等と連携した医療費や健診結果の地域差の要因分析の実施
- ・ 調査研究や分析成果を活用した取組の推進及び発信（調査研究フォーラムへの応募等）

(3) 組織・運営体制の強化

【主な重点施策】

●本部支部間の連携の強化

- ・ 保険料率上昇の抑制が期待できる事業のPDCAサイクルに沿った検討

●人事制度の適正な運用と標準人員に基づく人員配置

- ・ 業務の効率化・簡素化の徹底
- ・ 標準人員に基づく適切な人員配置

●OJTを中心とした人材育成

- ・ 研修や自己啓発等を効果的に組み合わせたOJTの実施
- ・ 職員のスキル向上による組織基盤の底上げ

●コンプライアンスの徹底

- ・ 職員研修等を通じた法令等規律の遵守（コンプライアンス）の周知・徹底
- ・ 外部相談窓口（ハラスメント相談・内部通報）にかかる利用の活性化

●費用対効果を踏まえたコスト削減

- ・ 入札案件における業者への声掛けの徹底、公告期間や納期までの期間の十分な確保、複数者からの見積書の徴取、仕様書の見直し等の取組実施による一者応札案件の減少

支部保険者機能強化予算について

「**基礎的業務関係予算**」とは、どの支部にも共通する事業にかかる予算

「**支部保険者機能強化予算**」とは、地域性を踏まえた**支部独自の取り組みを行う事業**にかかる予算



令和5年度佐賀支部保険者機能強化予算枠について

予算区分	予算枠	通常枠		特別枠	予算計上額
		通常枠	特別枠		
支部医療費適正化等予算 〈前年度比〉	12,090千円 〈+2,100千円〉	9,690千円 〈▲300千円〉	2,400千円 〈—〉	12,088千円 〈+2,098千円〉	
支部保健事業予算 〈前年度比〉	36,534千円 〈+6,334千円〉	29,294千円 〈▲906千円〉	7,240千円 〈—〉	29,294千円 〈▲906千円〉	

＜支部保険者機能強化予算の特別枠＞

- 令和5年度支部保険者機能強化予算より、エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組に意欲的な支部に対し、予算の「通常枠」に追加して予算措置がされる「**特別枠**」が新設された。

【特別枠の予算額（全体）】

支部医療費適正化等予算：10.0億円（対前年度+2.0億円）のうち、**2.24億円が特別枠**
 支部保健事業予算：40.0億円（対前年度±0.0億円）のうち、**1.20億円が特別枠**

